

令和元年6月4日
姫路海上保安部

紙芝居をパネル化した「環境パネル」の展示！

海上保安庁では、6月1日から6月30日までの間、「海洋環境保全推進月間」と定めており、姫路海上保安部においては、この期間中、姫路市林田町所在の「伊勢自然の里環境学習センター」の協力を得て、環境パネルを展示しています。このパネルは川原に投げ捨てた空き缶が川から海に流れ出て、海はゴミだらけとなっていき、海で働く人々が困り果て、ゴミの回収を行う、ゴミはゴミ箱へ捨て海を汚さないように、というお話しです。山間部に位置し、川の源流もある当センターにはぴったりマッチした環境紙芝居であります。

5月31日、警備救難課職員がパネルを取り付けていると、早速、小学生の団体が「これ何いー」と集まってきて、まとわりつく子供たちに紙芝居の筋書きを説明しました。

当センターは、小学生を対象に池の中の生き物をすくったり、川でサワガニや魚を捕まえたりする体験型の学習施設で、昨年の入場者は約15,000人、6月だけでも1,400人が訪れており、環境保全意識の高揚を図るにはうってつけの施設です。

多くの小学生が来場することを聞きつけた交通課職員は併せて「灯台絵画コンテスト2019」のポスターも掲示し、多くの応募に期待を寄せています。

【環境学習センターに訪れた小学生の団体】



【小学生に紙芝居の内容を説明する警備救難課職員】



【環境学習センター職員に灯台絵画コンテストのポスター掲示を依頼する交通課職員】



【掲示板にポスター掲示】

